

井川町教育委員会 2月定例会会議録

1. 日 時 令和2年2月25日(火) 午後2時～3時

2. 場 所 井川義務教育学校

3. 出席委員

| | |
|-----|-------|
| 教育長 | 六郷博志 |
| 委員 | 幡宮明貞 |
| 委員 | 齋藤正仁 |
| 委員 | 遠藤勇人 |
| 委員 | 小武海文恵 |

4. 欠席委員

なし

5. 会議に出席した事務局職員

| | |
|-------|------|
| 事務局長 | 伊藤一彦 |
| 事務局次長 | 鷺谷幸平 |

6. 会議

(1) 議案

- ①議案第2号 井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則(案)について
- ②議案第3号 井川町スポーツ賞授与規程の一部を改正する規程(案)について
- ③議案第4号 井川義務教育学校卒業式告示(案)について

(2) 報告事項

- ①旧井川小学校改修計画策定業務報告書について
- ②義務教育学校児童生徒社会性調査結果について
- ③社会教育委員の会議「今後の成人教育の在り方について(答申)」について
- ④義務教育学校の進路状況について
- ⑤教育委員会、公民館、学校関係行事予定について
- ⑥その他

7. 情報交換

8. 会議の経過

- 事務局長 今定例会の議事録署名員に齋藤委員、小武海委員を提案。
(全員提案を了承)
- 教育長 議案第2号井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則(案)について事務局に説明を求める。
- 事務局長 前回の定例会で協議した内容で、規則から「学年主任」という文言を削除する。
- 教育長 「学年主任制」ではなく「複数担任制」にするということである。何か質問はあるか。
- 委員 第18条に「ただし、別に定める学校については、この限りではない。」とあるが、井川義務教育学校以外に学校はないのでは。
- 教育長 同時にこの文も削除する。
- 委員 第15条の「学校評議委員」の「委」はいらないのではないか。
- 教育長 「委」を削除する。
それでは、2カ所の修正箇所も含め議案第2号井川町立井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則(案)について承認するという事によろしいか。
- 全員 異議なし。
- 教育長 議案第2号は承認されました。続いて、議案第3号井川町スポーツ賞授与規程の一部を改正する規程(案)について事務局に説明を求める。
- 事務局長 「奨励賞」という賞を追加して、井川義務教育学校の前期課程の児童も選考対象になるように改正したい。また、体育協会以外の団体(井川町体育協会が加盟している)が主催する大会に関しても、県大会以上の成績があれば奨励賞の対象になる。
- 委員 第9条について説明を求める。
- 事務局長 「表彰は対象の大会が行われる年度内とする。」とあるが、表彰は3月31日までにを行うこととしている。今までは翌年度の運動会の時に表彰していたが、学校を卒業する児童生徒もいるため、確実に表彰できる時期に行うこととする。
- 委員 第1条ですでに奨励賞がうたわれている。改めて第1条に奨励賞を追加する必要はないのでは。
- 委員 第1条で、功労賞、栄光賞、奨励賞と規定しており、第2条で功労賞の説明、第3条で栄光賞の説明がされている。第4条で奨励賞の説明があればいいのでは。

教育長 今回の議案第3号については差し戻しをし、修正したものを次回の定例会で審議することとしたい。

続いて議案第4号井川義務教育学校卒業式告示（案）について説明をする。案はお渡ししている用紙のとおりである。何か意見はあるか。

委員 今年度子ども達が影響を受けたと思われる渡部淳先生のことについて触れたことはとてもいいと思う。ただ、2段落目の2行目の文章が少し長いのでは。

教育長 間に区切りを入れる。

他に何か意見はあるか。なければ、議案第4号井川義務教育学校卒業式告示（案）について承認するという事によろしいか。

全員 異議なし。

教育長 議案第4号は承認されました。つづいて、(2)報告事項に移る。

①旧井川小学校改修計画策定業務報告書について事務局に説明を求める。

事務局長 (旧小学校を利活用のために改修する費用、改修せずに解体する場合にかかる費用について算定した。躯体自体は大規模改修や耐震補強工事を施しており、当面利用は可能である。建物全体の利活用に向けた改修費用は約240,000千円となり、新たな活用スペースとして全体を解体する場合の費用は、約375,000千円が必要となる。)

委員 町民のつどいで何年か前に「旧小学校の利活用について」がテーマとなっていた。その時に町長が役場の若手職員を中心に今後取り組んでいくと言っていたが、特に何も進んでいないようだ。今現在は国花苑と一体的な策定を行う方向で進めているのか。

事務局長 現在はそのように進めているが、はっきりとした方向性は決まっていない。

教育長 続いて、②義務教育学校児童生徒社会性調査結果について説明をする。

(7月と2月に社会性調査を行った。規範意識が高くきまりなどを守る子ども達が多いが、積極性が不足している子どもたちが多い。学年差が大きく数値に反映しており学校全体として諸活動でのねらいや取り組みの一致が薄いと考えられる。)

委員 アンケートの質問項目は、資料にあるようなところを参考にしたのか。

教育長 国(国立教育政策研究所生徒指導センター)で行った調査内容を参考にした。

- 委員
教育長 3, 6, 8年生と他学年の差が大きい。
特に6, 8年生はあらゆるアンケート調査においてもマイナスな回答をする子どもが多い。自己肯定感が低い子どもが多いように思う。
- 委員 学年ごとにカラーが異なる。子どもたちの育ってきた環境や、担当してきた先生の影響もあるのでは。
- 委員
教育長 たとえば8年生の授業の様子はどうか。
悪くはない。規範意識も高く、生徒会での立候補など積極的な様子もみられる。
- 委員
教育長 この結果は学校へ渡されているか。
渡っている。
次に、③社会教育委員の会議「今後の成人教育の在り方について（答申）」について説明をする。今月の教育委員会だよりもまとめたものを載せている。成人や高齢者を対象にした講座やイベントについて、委員の方から出された意見を資料にまとめている。何か質問はあるか。
- 委員 答申ということで、出された意見のいくつかは改善していかなければならない。また、例えば「まちづくり懇談会」を毎年開催しているが、住民は「町がなんとかしてくれる」という考えを持っていると思う。今回の成人教育についても、「公民館が～した方がいい」という意見が多数である。町や教育委員会だけではなく、あらゆる協会や団体、組織が自ら動いていくような形を作ったほうが良いと思う。頼ることが多いので、「自分たちのことは自分たちでやる」ということを植え付けることも大切だ。
- 委員 高齢大学に父親も参加しているが、参加者の人数が年々少なくなっていることに危機感を感じているようだ。特に男性の参加者はほとんどいない。高齢者に参加してもらうためには、講座やイベントの「テーマ」次第なのか、参加者同士の誘い合いなのか、広報の仕方なのか。答申にはいろいろな視点からの考えが書かれています。また、町外出身者からすると各種講座やイベントは知っている人もおらず、かなり参加するハードルは高い。
- 委員 自然ウォーキングに参加したが、毎回参加している常連の方々がいた。イベント自体はとても楽しかった。
- 教育長 平成に入るあたりから、こういったイベントや講座への参加者が激減している。農業人口の減少と比例しているようだ。
次に、⑤教育委員会、公民館、学校関係行事予定について事務局に説明を求める。

事務局長 (教育委員会、公民館、学校関係行事予定について説明)
教育長 続いて、⑥その他について事務局に説明を求める。
事務局長 (町の各スポーツ施設の使用時間及び使用料を改正する。)
教育長 (他に無いことを確認して定例会を終了)